

令和4年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	国際取引法特論A		担当教員	吉田 一康				
	英語授業科目名	International Business Law A		単 位	2	学 期	前期		
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連	国際取引法演習を選択の場合は受講のこと				
履修条件	法律と英語の基礎的な知識を有し、法律英語に興味があることが望ましい。								
テーマ・副題	英文契約書の理解								
授業の教育目的・目標	(1) 国際取引法の概略の理解 (2) 英文輸出入契約書の理解								
授業の理解度の到達目標	(1) 英文輸出入契約書の内容を理解できること。 (2) 国際取引紛争が発生した場合、紛争解決地及び紛争解決方法、紛争についての準拠法を予測できること。								
授業キーワード	国際取引法、国際商事仲裁法、国際私法								
授業の内容	国際取引法の概略を説明するとともに、今後、益々重要性が増してくるとされる英文契約書を理解するために、英文輸出入契約書を教材として分かり易く解説します。								
授業の方法	(1) 50～60分 レジュメを使用した講義 (2) 30～40分 練習問題、質問、討議								
授業展開	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                 (1) 講義紹介 講義内容・成績評価等について説明します。                  (2) 国際取引法の定義 「国際取引法」とは何かということを明確にし、国際取引法に関する国際機関について説明します。                  (3) 法意識 商行為に関する法意識についての理論について説明します。                  (4) 国際裁判管轄 日本の裁判所が、国際的な事件について裁判を行う権限の有無を判断する基準について説明します。                  (5) 国際商事仲裁 国際取引紛争の主たる解決方法である仲裁について説明します。                  (6) 国際私法① 国際取引契約の当事者に関して適用される法律の決定方法等について説明します。                  (7) 国際私法② 国際取引契約に適用される法律の決定方法等について説明します。                  (8) 輸出通関 日本から商品を輸出する場合の輸出通関の仕組みについて説明します。             </td> <td style="vertical-align: top; border-left: 1px dashed black;">                 (9) 輸入通関 日本に商品を輸入する場合の輸入通関の仕組みについて説明します。                  (10) インコタームズ 国際取引に使用されている定型取引条件について説明します。                  (11) 国際海上物品運送 輸出入品の海上輸送に関する法律の歴史的経緯と現状について説明します。                  (12) 荷為替信用状決済 国際取引の典型的な決済方法である荷為替信用状決済の仕組みについて説明します。                  (13) 国際取引契約の締結まで 事前調査から国際取引契約の締結までの法的問題について説明します。                  (14) 英文輸出入契約書① 典型的な英文輸出入契約書の前半部分の「インコタームズ」や「支払方法」等について説明します。                  (15) 英文輸出入契約書② 典型的な英文輸出入契約書の後半部分の「準拠法」や「紛争解決」等について説明します。             </td> </tr> </table>							(1) 講義紹介 講義内容・成績評価等について説明します。 (2) 国際取引法の定義 「国際取引法」とは何かということを明確にし、国際取引法に関する国際機関について説明します。 (3) 法意識 商行為に関する法意識についての理論について説明します。 (4) 国際裁判管轄 日本の裁判所が、国際的な事件について裁判を行う権限の有無を判断する基準について説明します。 (5) 国際商事仲裁 国際取引紛争の主たる解決方法である仲裁について説明します。 (6) 国際私法① 国際取引契約の当事者に関して適用される法律の決定方法等について説明します。 (7) 国際私法② 国際取引契約に適用される法律の決定方法等について説明します。 (8) 輸出通関 日本から商品を輸出する場合の輸出通関の仕組みについて説明します。	(9) 輸入通関 日本に商品を輸入する場合の輸入通関の仕組みについて説明します。 (10) インコタームズ 国際取引に使用されている定型取引条件について説明します。 (11) 国際海上物品運送 輸出入品の海上輸送に関する法律の歴史的経緯と現状について説明します。 (12) 荷為替信用状決済 国際取引の典型的な決済方法である荷為替信用状決済の仕組みについて説明します。 (13) 国際取引契約の締結まで 事前調査から国際取引契約の締結までの法的問題について説明します。 (14) 英文輸出入契約書① 典型的な英文輸出入契約書の前半部分の「インコタームズ」や「支払方法」等について説明します。 (15) 英文輸出入契約書② 典型的な英文輸出入契約書の後半部分の「準拠法」や「紛争解決」等について説明します。
(1) 講義紹介 講義内容・成績評価等について説明します。 (2) 国際取引法の定義 「国際取引法」とは何かということを明確にし、国際取引法に関する国際機関について説明します。 (3) 法意識 商行為に関する法意識についての理論について説明します。 (4) 国際裁判管轄 日本の裁判所が、国際的な事件について裁判を行う権限の有無を判断する基準について説明します。 (5) 国際商事仲裁 国際取引紛争の主たる解決方法である仲裁について説明します。 (6) 国際私法① 国際取引契約の当事者に関して適用される法律の決定方法等について説明します。 (7) 国際私法② 国際取引契約に適用される法律の決定方法等について説明します。 (8) 輸出通関 日本から商品を輸出する場合の輸出通関の仕組みについて説明します。	(9) 輸入通関 日本に商品を輸入する場合の輸入通関の仕組みについて説明します。 (10) インコタームズ 国際取引に使用されている定型取引条件について説明します。 (11) 国際海上物品運送 輸出入品の海上輸送に関する法律の歴史的経緯と現状について説明します。 (12) 荷為替信用状決済 国際取引の典型的な決済方法である荷為替信用状決済の仕組みについて説明します。 (13) 国際取引契約の締結まで 事前調査から国際取引契約の締結までの法的問題について説明します。 (14) 英文輸出入契約書① 典型的な英文輸出入契約書の前半部分の「インコタームズ」や「支払方法」等について説明します。 (15) 英文輸出入契約書② 典型的な英文輸出入契約書の後半部分の「準拠法」や「紛争解決」等について説明します。								
成績評価方法	(1) 積極性 30～40% (2) 筆記試験 60～70%								
成績評価基準	A 80%以上      B 70～79%      C 60～69%      D 59%以下 (不合格)								
テキスト	毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは特に使用しません。								
参考図書	①佐野寛『国際取引法』（有斐閣、第4版、2014）2750円 ②石川雅啓『実践貿易実務』（JETRO、第12版、2016年）3190円 ③中島暁『詳解国際法律文書作成』（商事法務、2013）4400円								
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	(1) 各講義の内容に係る参考図書の該当箇所を読んでくること（1時間程度）。 (2) 各講義の内容に係るニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。								
学生へのメッセージ	元気があれば何でもできる！								
オフィスワー	毎週、講義日は、新町キャンパス（講義室、講師控室など）にあります。								
連絡先	電話番号	0270-32-1011（大学事務室）		メールアドレス	online-yoshidai@sc.jobu.ac.jp				
人数制限	なし								